広域連携基盤システム構築業務 仕様書

本仕様書は、「広域連携基盤システム構築業務」に適用する。

1 契約期間

契約締結日から令和8年2月28日まで

2 業務の目的

道路の維持管理に関する業務を効率化・高度化するために、山口県と周南エリアの3市（下松市、光市、周南市）で共同利用可能なシステムを構築し、官民の事務合理化やデータの蓄積と活用によるインフラメンテナンスの効率化・高度化を推進し、持続可能な地域社会の実現を目指す。

3 業務の内容 ※【 】に業務スケジュールの目安を示す。詳細は受注後の発注者と受託者との協議によって決定する。

3.1 要件定義 【令和7年7月末まで】

- ・業務の目的を把握した上で、関係者にヒアリングを行い、システム要件を明確化する。
- ・その際、関係自治体のセキュリティポリシーやkintone 導入状況等を把握し、運用可能なシステム要件を整理して提案すること。
- ・kintone 以外のツール検討は含まない。

3.2 システム設計 【令和7年10月中旬まで】

- ・本業務で構築するシステムは、kintone アプリ及びカンタンマップとの連携に関する設計は周南市道路課が使用しているシステム（以下、「周南市システム」とする。概要は別紙1参照のこと。）を基本として、**4. システム要件**を満足するように構築する。周南市システムのテンプレートデータは契約後に提供する。ただし、一部の java Script のノーコード移行や、運用変更に必要なシステム改修、権限管理の設定最適化について提案し、改修を行う。
- ・システムは、山口県が契約済のkintone テナント（非 LG-WAN 環境）内に、新たにゲストスペースを設けて構築するものとし、別環境でのシステム構築が必要となった場合は発注者と受託者との協議のうえ、契約変更の対象とする。
- ・なお、3市（周南市、下松市、光市）はゲストユーザーとしてアプリを使用する。

3.3 データ移行 【令和7年11月上旬まで】

周南市システムで蓄積済のデータ（約50GB程度）について、本業務で新たに構築したシステムでも活用できるように、データの整理・移行を行う。

3.4 操作マニュアルの作成と研修の実施 【令和7年12月下旬まで】

システム管理者向けマニュアルと、利用者向けマニュアルを作成し、職員向けと利用建設会社向けの操作研修を実施する。

研修は1時間×8回を想定している。

3.5 運用テスト・導入支援 【令和7年12月～令和8年2月末まで】

- ・構築したシステムの運用テストを実施し、フィードバックを受けた改善対応後、導入する。
- ・導入支援の内容および条件は、次のア～ウのとおりする。

- ア 支援内容は、ミーティング参加、アドバイス、技術的相談に対する問合せ対応（メール・電話等）とする。
- イ 支援時間は、1時間／回で2回／月を3か月間、計6時間程度を予定している。10%以上の増減が生じる場合は契約変更の対象とする。
- ウ 支援の対象業務は、kintone での新規アプリ構築、既存アプリの改善、プラグイン導入および設定、運用拡大支援等に関するノウハウや改善策の提示とする。

3.6 ライセンス等の購入

- ・システムの構築～検証やデモンストレーション等に使用するため、必要なアプリケーションソフト等のライセンス料（10ライセンス、10箇月分）を購入する。

3.7 今後のシステム展開（エリア拡大）に向けての検討整理

- ・開発したシステムを、今後他エリアで利用するために必要な検討や条件整理を行い、導入手順や必要な対応を整理して簡潔な資料にとりまとめる。

4 システム要件

本業務で構築するシステムは、周南市システムと同等以上の性能を有し、以下の 4.1～4.4 を満足するものとする。

4.1 kintone アプリ要件

- ・道路維持管理に必要な情報（点検結果、補修履歴、写真、担当者など）を一元管理できること
- ・データの検索・ソート・フィルタリング機能を備えること
- ・申請・報告ワークフローを構築できること
- ・スマートフォンやタブレットからもアクセス可能であること
- ・システム利用者毎の権限を設定し、運用できること

4.2 カンタンマップ連携

- ・点検結果や補修履歴を地図上に可視化できること
- ・位置情報を活用した検索・管理が可能であること
- ・kintone との双方向連携が可能であること
- ・住宅地図（利用範囲は下松市・光市・周南市とし、同時接続数は10とする。）、各自治体の管理道路網図（GIS形式データ）との重ね合わせ表示ができること。

4.3 セキュリティ・権限管理

- ・自治体職員と建設会社で閲覧・編集権限を分けられること
- ・ユーザーごとに適切なアクセス制御ができること
- ・データのバックアップ・復旧機能を備えること

4.4 他アプリとの連携

- ・周南市システムで連携済の通報アプリの他、下松市と光市がそれぞれ運用している LINE 通報アプリ、および国土交通省が運用する「道路緊急ダイヤル LINE アプリ通報」と連携すること。
- ・連携対象の各アプリについて、本業務で開発するシステムとの連携に必要な仕様等の情報が各システム管理者から開示されることを前提としており、この条件に変更が生じる場合は契約変更の対象とする。

5 報告書及び成果の納品

- 5.1 業務の目的を踏まえ、業務の各段階で作成された成果を基に、業務の方法、過程、結論について記した報告書（詳細版および概要版）を作成する。
- 5.2 納品物は以下のとおりとする。
 - ・ 成果報告書（概要版、詳細版） ※Web 公開可能な資料として作成すること
 - ・ システム設計書 ※Web 公開可能な資料として作成すること
 - ・ kintone アプリおよびカンタンマップ設定済み環境、テンプレートファイル
 - ・ 操作マニュアル（システム管理者編、システム利用者編）
 - ・ 運用テスト報告書
- 5.3 本業務における納入成果品は下記システムにより納品するものとする。（電子成果品の電子媒体による納品に替えて、受託者がインターネット上でウェブブラウザを用いて電子成果品を登録することで納品することから、登録費用については受託者が負担するものとする。

■ オンライン電子納品システム「My City Construction」

(URL) <https://mycityconstruction.jp/>

6 受託者の要件

- 6.1 自治体発注業務において kintone を活用したシステム開発・納品した実績を有すること
- 6.2 kintone とカンタンマップとの連携設定経験があること
- 6.3 自治体の業務効率化システムを開発し、1年間以上実際に運用された経験があること
- 6.4 「サイボウズ パートナーネットワーク登録企業」であること
- 6.5 kintone 認定資格（アプリデザインスペシャリスト）を持つ担当者を配置すること。

7 その他

- 7.1 知的財産権の取扱いは、次のア～オのとおりとする。

ア 著作権等の帰属

受託者は、本業務で得られた成果物の著作権（著作権法（昭和 45 年法律第 48 号）第 27 条、第 28 条の権利を含む）を無償で発注者に譲渡するものとする。ただし、受託者が本業務契約日より前から有していた受託者固有の知識、技術に関する権利等（権利留保物）については受託者に留保するものとし、この場合、受託者は権利留保物についての当該権利を非独占的に使用できる。

なお、受託者は当該著作権を自ら使用し、又は第三者をして使用させる場合には、本県と別に定める使用契約を締結するものとする。

イ 著作者人格権の扱い

受託者は著作者人格権を行使しないものとする。

また、受託者は本業務で得られた成果物に受託者以外の著作者がある場合は、当該著作者に著作者人格権を行使しないように必要な措置をとるものとする。

ウ 成果物の使用

受託者は、本業務によって得られた成果物について、発注者が使用する権利及び発注者が第三者に使用を許諾する権利を無償で許諾するものとする。

エ 第三者の知的財産権の使用

受託者は特許権、著作権等の知的財産権の対象となっている第三者の技術等を使用するときは、その使用に関する一切の責任を負う。また、それに関わる費用については委託料に含むものとする。

オ その他

その他、本業務で得られた成果物の取り扱い及び知的財産権に関する事項については、発注者と受託者とで協議して定めるものとする。

7.2 上記の他、本業務は総務省の「広域連携による市町村事務の共同実施モデル構築事業」を活用して実施するため、本業務で得られた成果品は総務省に提出し、他地方自治体の取組みの参考として活用予定である。

7.3 仕様の詳細については、発注者と受託者で協議の上、決定する。

別紙 1 周南市システムについて

1 システムの概要

- ・周南市建設部道路課が管理する道路施設について、kintone アプリを活用して、道路管理事務の効率化、迅速化を図っている。
- ・道路施設の損傷等について、住民や道路利用者から寄せられる通報や要望等の情報を一元的に集約するとともに、修繕等の対応を行う建設業者や市職員内部で情報を共有し、修繕対応の指示や報告を全てシステム上で対応している。
- ・ノーコード・ローコードで、実務に応じたカスタムが可能。

2 主な機能

- ・案件は市職員による直接入力に加え、周南市が運用している「しゅうなん通報アプリ」とシステム連携済み（入力、転載等の単純作業が不要）。
- ・通報受付や建設業者とのやりとり等は、登録したメールアドレス宛にメールで通知される。
- ・各案件の位置情報は、カンタンマップを活用し、標準的な地図上での表示に加え、住宅地図や周南市独自の管理道路網図との重ね合わせ表示も可能。
- ・各案件の進捗状況等に応じて、地図上で色分け表示し、対応状況を可視化することで、案件の対応漏れを回避することが可能。
- ・市職員から建設業者への指示や連絡、建設業者から市職員への工事履行報告等のやりとりは、写真や図面データファイルをシステム内に登録することで、ペーパーレス化や省力化を実現。
- ・蓄積した各案件の情報はデータとして蓄積され、検索や集計、出力等の機能を有していることから、対応実績の可視化や分析が可能。

3 利用状況（2025年4月1日時点）

- ・アカウント数 : 6
- ・アプリ数 : 11
- ・レコード数 : 約1万件
- ・添付ファイル容量 : 約40GB

4 その他

- ・システム内容について不明な点がある場合は、質問書により発注者に問い合わせること。（周南市建設部道路課に問い合わせないこと。）